横浜天声キリスト教会　週報　第 16 巻 24 号（No.592）　2021 年 6 月 13 日

礼拝プログラム　※主の導きにより変わる事があります

黙祷　ヘブル 10:37-39 ・・・・・ 御言葉に耳を傾け心を主に向けましょう。
*賛美 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 170番　主のみ慈しみ
*交読文 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 27番
*使徒信条 ・・・・・・・・・・・・・・会衆一同
*頌栄 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 179番　良き知らせを
礼拝のための祈り ・・・・・・・ 成田エクレシア：朴執事　天声：小林伝道師
賛美 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 382番　約束の地を
メッセージ ・・・・・・・・・・・・・・ ヨルダン川を超えて行くべき時(ヨシュア記 3 章)
御言葉を適用する祈り ・・ 会衆一同
賛美 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 86番　たよりまつるイエスは
献金感謝の祈り ・・・・・・・・ パスター
報告 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・
*主の祈り ・・・・・・・・・・・・・・ 会衆一同
*祝祷 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ パスター

天声教会は

・御言葉なる主の御声を忠実に聞く教会。（ヨハネ 1:1、マタイ 3:17、17:5）
・主の御言葉を心で信じて義に至る教会。（ローマ 10:10）
・全能なる主の御言葉を口で告白し、救いに至る教会。（ローマ 10:10）
・受けた恵みを愛と忍耐をもって実践する教会。（第二テサロニケ 3:5）

祝福の御言葉（下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい）

____が行って取ろうとする地は、____が出てきた世の土地のようではない。あそこでは、青物畑でするように、____は種をまき、足でそれに水を注いだ。しかし、____が渡って行って取る地は、山と谷の多い地で、天から降る雨で潤っている。その地は、____の神、主が顧みられる所で、年の始めから年の終りまで、____の神、主の目が常にその上にある。（申命記 11:10−12）

だから、____は自分の持っている確信を放棄してはいけない。その確信には大きな報いが伴っているのである。神の御旨を行って約束のものを受けるため、____に必要なのは、忍耐である。「もうしばらくすれば、きたるべき方がお見えになる。遅くなる事はない。わが義人____は、信仰によって生きる。もし信仰を捨てるなら、わたしのたましいはこれを喜ばない」。しかし____は、信仰を捨てて滅びる者ではなく、信仰に立って、いのちを得る者である。（ヘブル 10:35−39）

メッセージ概要

学業やビジネス、人生において、新しい領域に入った聖徒達がおられる今、神の民が新しい地へと入って行く箇所、ヨシュア記から恵みを得ている。前回、新しい領域に入った神の民に、必須の条件は何なのか、5 章から恵みを得た。今回は少しさかのぼって、3 章から恵みを得たい。3 章は、今まで入った事の無かった新しい領域、主が約束された祝福の地へ、まさにこれから足を踏み入れようとしている箇所である。

彼らの目の前には、ヨルダン川が横たわっている。この時期はヘルモン山の雪解け水で水位が最も高い。水は冷たく、流れは早い。人は思う。なぜよりによってこんな時期に？敵が追ってくる訳ではないし、ヨルダン川のこちら側には、そこそこ地を得ているのに、なぜ敢えて危険を冒して、強敵がうごめいている向こう岸へ行かなくてはならないのか？　このような時、信仰が試されている。人には 100%不可能と思えるような現実。しかし、ただ主の「**行け**」という御声だけが響いている…。そのような時、ぜひとも行くべきなのだ！その向こうには、天の雨で潤った、豊かな作物で満ちた地、素晴らしいもので満ちた町々を得られるのだから。100%真実な主の言葉を信じて行動するなら、滅びの川は堰き止められ、障害の山は海へと移る。

「ヘブル人」とは、川を渡ってきた民、という意味で、私達・神の民は皆、そうだ。信仰の先祖アブラハムも、ただ御声だけを信じて本土、親戚、父の家を離れ、ヨルダン川を渡り、カナンの地へと渡ってきた。
私達にとっての「ヨルダン川」を渡る時、今まで慣れ親しんだ方法や経験は、一切「邪魔」と思うべきである。ヨルダン川を渡る時に唯一、目当てとなるものは、ただ、**祭司達が担いで行く契約の箱**のみである。(3 節)

契約の箱の中には、①神の契約が記された**石の板**と、②アーモンドの花が咲いた**アロンの杖**と、③マナが入った**金の壷**が入っていた。アロンの杖は、死からの復活の象徴で、それが大祭司の象徴であり、マナは、神様が天から降らせてくださった恵みの食物で、神様はいのちを必ず養って下さる、という証拠である。

今、私達が目当てとすべき「契約の箱」とは何か。それは、①現代の祭司である牧師や主の働き人が担いでいる、**旧契約・新契約から成る「神の言葉・聖書」**であり、②**主は必ずいのちを養い、必要を満たして下さる**、というメッセージであり、③**死から復活された真の大祭司キリストの、十字架と復活の言葉**である。

彼らは以前、雲と火の柱や、マナのような、目に見えるしるしや奇跡に頼って歩んでいたが、約束の地に入って祝福の生活を始めるなら、もはや、奇跡やしるし頼みの生活や、一方的にもらうだけの歩みは止めて、信仰をもって働くべきである。実際、ヨシュア記では、信じて進み出て、大きく活躍した部族は、多くの領土を得、少しだけ働いた部族は、少ない領土を得て、そこが、彼らの永遠の領土として、確定した。

私達も、この地上で信仰を働かせて、働き、多くを稼ぐなら、永遠の天において多くの相続地を得るのだ。

『*しかし、あなたがたと箱との間には、おおよそ二千キュビトの距離をおかなければならない。それに近づいてはならない。*』(4 節)　ヨルダン渡河において、もう一つの大事な事は、二千キュビトの距離である。

私達も、まことの大祭司・イエス様との距離感を、意識すべきだ。イエス様が優しいからと、馴れ馴れしく軽んじて、無礼を働いてはならないし、かと言って、あまりに遠すぎる存在として、離れすぎてもいけない。御言葉を乗り越えて先に行ってはならないし、御言葉の後について行く事を、怠けてもならない。

ヨルダン川を前にして、主が為してくださる不思議な御業を見るためには、自分自身を清めなくてはならず(5 節)、次に「近づいて」主の言葉を聞かなくてはならない(9 節)。種を蒔いていない土地は、雑草しか生じないように、御言葉の種を、自分の生活や立ち居振る舞いに蒔かない人の人生は、雑草しか生じない。

主は約束された。勢いある川の水は、「全地の主」の契約のしるしを前に、堰き止められる、と(11-13 節)。主が「行け」と言っておられる時、私達も、主の契約のしるしを担いでいるなら、滅びの川も、障害の山も、恐れる必要は無い。「彼は救い（イエシュア＝ヨシュア）」という名のイエス様が、私達を救ってくださるから。

ただ信仰によって大祭司イエス様の後について進んで行くなら、滅びの川も、死の陰の谷も、いつの間にか、安全な道となり、未だかつて経験した事の無い、主の素晴らしい領域へとますます入ってゆく。信じて「ヨルダン川」を渡り、多くを得ていく皆さんでありますように！イエス様のお名前によって祝福します！

お祈りしていただきたい事がありましたら、以下にお書きの上、教会へお持ち下さい。

集会案内

主日礼拝（日曜）

日本語礼拝　賛美 10:30　礼拝 11:00

食事/フェローシップ　12:30～

English Service　14:00～

※月に一度、成田出張礼拝のためお休みします。
詳しくはお問い合わせ下さい。

日々の集会

月～金　早天祈祷会　5:00～

火・木・金　賛美と祈りの集会 13:00～

火～木　夜の祈祷会　19:30～

水曜礼拝

1 部　13:00～

2 部　19:30～

金曜祈祷会　19:30～

各礼拝はインターネットでライブ中継しております　→　youtube.com/c/横浜天声キリスト教会

アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6 番 B 出口を出てまっすぐ徒歩 5 分
JR・関内駅より徒歩 10 分
京急線・日ノ出町駅より徒歩 10 分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1F がファミリーマートになっております。

聖書メッセージをメールでお届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！

第 16 巻 24 号　2021 年 6 月 13 日

横浜天声キリスト教会

礼拝　週報

〒231-0058　パスター：　林和也　川合ゆきえ
神奈川県横浜市中区弥生町 2-17　ストークタワー大通公園 I-201
TEL/FAX： 045-326-6211
Homepage： http://voice.of.christ.yokohama/
email： ephes_03-tensei@yahoo.co.jp

YouTube